



深田保育所改築基本構想(案) (概要版)



はじめに

深田保育所は地域の願いのもと、昭和51年に開設された保育所です。地域とのつながりを大切にし、地域に根差した保育所として50年近くたちました。この間も耐震化工事や修繕を繰り返してきましたが、老朽化による不具合が散見され、課題となっています。そこで建替え等の検討を行いました。

現状の課題

新しい園舎を整備するにあたり、深田保育所で培ってきた保育のあり方を振り返り、今の時代にあった保育所になると共に、将来を見据えたものとするため、職員アンケートやワークショップを行い、課題や大切にしていることを整理しました。

施設の老朽化

雨漏りや建具の傾きなど建物の不具合
水回りなど設備の不具合
修繕の増加 など

社会的ニーズや環境の変化

段差があるなどバリアフリーに対応できていない
多目的トイレがない
送迎時の駐車・駐輪スペースの不足 など

深田保育所が大切にしていること

自然に触れ、自然を大切にする

保育室と園庭の距離が近く、生活や遊びの中で、樹木や草花、虫などを通して自然を感じることができます。また、菜園で野菜を育て、収穫し、食べるという経験や生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力を育みます。



地域・社会とつながる

人格形成の基礎づくりにある乳幼児期に人権を尊重する心を育み、人と関わる力を養うことを大切にしています。地域の敬老会や文化祭への参加など、様々な人と関わる中で、自尊感情と他者への信頼感を育み、人と関わる力を育てます。

絵本とつながる



絵本が好きな子に育ってほしいという思いで保育の中に絵本を取り入れています。「年長ふれあいのタペ」では地域と協力・交流しながら園児に絵本を取り入れた遊びを通して、豊かな感情や表現力を育み、想像力の芽生えや自己肯定感を培います。

「現状の課題」「深田保育所が大切にしていること」に沿って、新園舎の施設・機能に必要なと考えられる事項を整理しました。これらの方針を元に、今後、より具体的に設計を進めていきます。

新園舎の施設・機能

園舎

保育室と園庭の距離の近さを考慮した園舎配置とします。送迎時の混雑を緩和する対策として、駐車・駐輪スペースの増設を検討し、周辺の生活環境に配慮します。



保育室

現在の定員(120名)を基準に弾力的な受け入れができるようにすると共に、安全・安心な生活ができる環境、多様な遊びを促す空間を整備します。



給食

自園調理方式で、食育の視点を取り入れた給食を提供します。



園庭

園庭を可能な限り広く確保し、身近に自然を感じられ、遊具でのびのびと遊べる園庭を整備します。



地域子育て支援センター「たんぽぽ」

保育所内にセンターを設置し、保育所を身近に感じてもらう、未就園児や保護者が訪れやすい環境で子育て支援を行います。



建替えに向けた今後のスケジュール

整備スケジュール

令和6年度に基本構想(設計要件)策定、令和7年度から設計を始め、令和9年度頃から工事を行い、令和12年度頃の完成をめざします。

今後、保護者や地域説明会等を設け、ご意見を伺い、より良い保育所となるよう、さらなる検討を進めます。

基本構想プラン比較表

施工計画

狭小で限られた敷地のため仮設園舎を設けるなど保育所運営を維持しながら建替える必要があります。

建替え中も保育環境を守りながら、より良い方法で新園舎への建替えができるように検討を進めます。



全案共通で、駐車スペースは3台程度を想定しています					
建設地	新築移転 案1	現地建替え 案2	案3	現地建替え+仮園舎を敷地外へ設置 案4	案5
概要	・現敷地と現深田公園を交換 ・現深田公園に園舎を新築	・段階的に園舎を建設(新築3回、解体2回)	・敷地内に仮設園舎を設置 ・段階的に園舎を建設(新築2回、解体2回)	・深田公園に仮設園舎を設置	・現保健センターを園舎に改修し、仮園舎を設置
仮設園舎	無	無	有(敷地内)	有(深田公園内)	有(現保健センターを利用)
工期	約20ヶ月	約40ヶ月	約40ヶ月	約20ヶ月	約20ヶ月
工事中の保育への影響	・現園舎での保育実施が可能 ・敷地外で工事を行うため、保育への影響がない	・現敷地内で保育実施が可能 ・敷地内で工事を行うため、騒音・振動等の影響を受ける ・工事の進捗等にあわせた保育室の移動や安全対策が必要 ・園庭が極端に小さくなる	・現敷地内で保育実施が可能 ・敷地内で工事を行うため、騒音・振動等の影響を受ける ・工事の進捗等にあわせた保育室の移動や安全対策が必要 ・園庭が極端に小さくなる	・仮設園舎で保育実施となるため、工事等の影響を受けない ・園庭が小さくなる	・仮園舎で保育実施となるため、工事等の影響を受けない ・仮園舎の構造がしっかりしているため、騒音・振動等の影響を受けない ・園庭が小さくなる
工事中の近隣への影響	・新園舎建築から公園再整備期間中は公園を利用できない ・工事の騒音・振動等の影響を受ける	・長期間にわたり、工事の騒音・振動等の影響を受ける	・長期間にわたり、工事の騒音・振動等の影響を受ける	・仮設園舎設置工事から解体までの間、深田公園の利用制限を受ける ・仮設園舎が地域の幹線道路に接するため、園児送迎時の安全対策が必要 ・工事の騒音・振動等の影響を受ける	・仮園舎は幹線道路やこども園が近い、園児送迎時の安全対策が必要 ・工事の騒音・振動等の影響を受ける
工事後の近隣への影響	・敷地交換による環境等の変化により生活環境等への影響が大きい ・地域の幹線道路に接するため、園児送迎時の安全対策が必要	・園舎・園庭の配置が異なるため、園児送迎時の送迎車や人の流れが異なり、生活環境への影響がある	・現園舎・園庭に近い配置となるため、近隣住民の生活環境への影響は少ない	・現園舎・園庭に近い配置となるため、近隣住民の生活環境への影響は少ない	・現園舎・園庭に近い配置となるため、近隣住民の生活環境への影響は少ない
設計の自由度	◎	△	○	◎	◎
工事費(概算)	9億円	10億円	11億円	12億円	10億円
総合評価	×外的制約により困難(※)	○	△	◎	◎

(※) 都市公園法による外的制約：①深田公園(約2,400㎡)の30%(約720㎡)まで保育所として占用可能だが、狭小のため園舎の建築は困難 ②深田公園と同規模面積の代替敷地があれば、公園の全面積が占用可能だが、近隣にないため困難